

令和 8 年 10 月 19 日

報道機関 各位

山陰研究交流会
**「地域おこし協力隊制度における都道府県単位の支援ネットワークの役割と
課題—しまね協力隊ネットワークの実践を通じて—」開催**

◆本件のポイント

- ・山陰研究交流会では、毎月 1 テーマずつ、地域研究の成果をわかりやすくご紹介しています
- ・地域おこし協力隊を支える「県域支援ネットワーク」の 9 年間の実践から、協力隊と自治体を支える仕組みの可能性を探ります

◆本件の概要

2026年度山陰研究交流会では、10月から毎月 1 テーマずつ、地域研究の成果をわかりやすくご紹介していきます。10月は三瓶 裕美 氏(一般社団法人しまね協力隊ネットワーク 代表理事)にしまね協力隊ネットワークの実践をもとに、地域おこし協力隊への支援のあり方や課題についてお話しいただきます。

地域おこし協力隊制度では、市町村が実施主体となる一方、その外側から隊員や自治体を支える仕組みも求められています。

本発表では、しまね協力隊ネットワークの9年間の実践をもとに、隊員と自治体の関係を開き、地域に近い場所で見守る「県域の支援層」がどのように形成され、育ってきたのかを振り返り、その役割と今後の課題を考えます。

◆概要内容

【日 時】2026 年 10 月 28 日(水) 16:30~18:00

【テ ー マ】地域おこし協力隊制度における都道府県単位の支援ネットワークの役割と課題
—しまね協力隊ネットワークの実践を通じて—

【発 表 者】三瓶 裕美 氏(一般社団法人しまね協力隊ネットワーク 代表理事)

【開催方法】Zoom によるオンライン(要事前申込み)

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学法文学部山陰研究センター

電 話:0852-32-9833 / メール:admin-src[at]soc.shimane-u.ac.jp

案内 HP: <https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2026092800029/>

◇その他

取材につきましてはミーティング URL をご案内いたしますので連絡先にご連絡ください。開催前日や対面での取材につきましても対応いたします。

【添付資料: ■ あり(1 枚) 】

2026年度 山陰研究交流会

山陰研究交流会では、現時点での研究成果を報告し、それをもとに議論を行うことで、プロジェクト間の研究交流を推進しています。同時に、分かりやすく焦点を絞った話をしていただくことで、専門分野外の人にも研究内容について理解を深めてもらうことを目的として、継続的に開催するものです。

参加無料です。どなたでも、お気軽にご参加ください。

オンライン
開催

【開催スケジュール】

10/28
水曜日

地域おこし協力隊制度における都道府県 単位の支援ネットワークの役割と課題 —しまね協力隊ネットワークの実践を通じて—

三瓶 裕美 氏 (一般社団法人しまね協力隊ネットワーク代表理事)
2402 山陰研究プロジェクト「持続可能な地域発展のためのボトムアップ型政策に関する研究」

11/25
水曜日

中国山地における農地開発を主目的とした 鉄穴流しの応用に関する考察

宍戸 俊悟 氏 (中国山地総合研究所代表・
公益財団法人多根自然博物館たたら文化専門研究員)
2611 山陰研究共同プロジェクト「市民参加調査による島根県内の戦争体験記録データベースの構築」

12/23
水曜日

漂泊の旅人—ラフカディオ・ハーンと 杵築の関係を読み解く

宮澤 文雄 (島根大学法文学部准教授)
2411 山陰研究共同プロジェクト「〈震災後〉のラフカディオ・ハーン：
霊性の文学の再評価と文化資源化への応用」

2027
1/27
水曜日

加藤義成と『出雲国風土記』研究

吉永 壮志 氏 (島根県古代文化センター専門研究員)
橋本 剛 氏 (島根県立古代出雲歴史博物館主任学芸員)
2603 山陰研究プロジェクト「加藤義成所蔵資料をもちいた古代出雲の研究」

開催時間

10/28, 11/25 16:30～18:00

12/23, 1/27 16:00～17:30

開催方式

ZOOM によるオンライン開催
(参加無料・事前申し込み制)

参加方法

ホームページ掲載の申込み方法
をお読みいただき、各開催日の
前日までにお申込み下さい。

●2026 年度山陰研究交流会案内ページ



<https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2026092800029/>

＜申込・お問い合わせ先＞

島根大学法文学部山陰研究センター

電話：0852-32-9833

メール：admin-src@soc.shimane-u.ac.jp